情報処理技法（リテラシ）II
中間成果報告書

リーダー：柴田　淳司A

メンバー：柴田　淳司B

メンバー：柴田　淳司C

メンバー：柴田　淳司D

メンバー：柴田　淳司E

# 1. 基本情報

## 1-1 チーム名

|  |
| --- |
| リアル教員チーム |

## 1-2 メンバーリスト

|  |  |
| --- | --- |
| メンバー名 | 担当 |
| 柴田　淳司A | マネージャー（全体の進捗管理、提出資料作り） |
| 柴田　淳司B | 職業調査班 |
| 柴田　淳司C | 教員お試し班リーダー（シラバス作成と指示） |
| 柴田　淳司D | 教員お試し班（資料集め） |
| 柴田　淳司E | 教員お試し班（資料まとめ、講義資料作成） |

# 2. 活動進捗報告

## 2-1 活動目的

|  |
| --- |
| 大学教員という仕事について理解を深める。具体的には、自分が大学職員となったときのライフプランを調べる「職業調査」と、実際に授業を行うことで仕事のイメージを掴む「授業お試し」の2つを行う。 |

## 2-2 活動方針

|  |
| --- |
| 毎週土曜日に定期報告会（SNS利用）担当分けをしているが、遅れている人がいた場合は手の空いた別の人が手伝う。 |

## 2-3 作成物一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作成物名 | 概要 | 進捗[%] |
| 大学教員職業調査 | 大学教員の年齢別平均年収、求められる能力、職業に就く方法、今後10年の大学教員業界の動向調査、一般的な教員の例、等をまとめた書類 | 20 / 100 |
| 授業シラバス | 実際に授業をしたとき授業計画（シラバス） | 100 / 100 |
| 授業資料 | 実際に授業をしたときの授業資料 | 20 /100 |

## 2-4 進捗状況解説

|  |
| --- |
| 職業調査班調査- 平均年収、職業に就く方法等は調査済み（担当：柴田B）- 一般的な教員の例は小中高の教員免許を持つ同僚に尋ねる予定（担当：柴田B）資料まとめ- まだまとめ中（担当：全員）授業お試し班- 高校2年生の国語授業に絞った（担当：柴田C）- 東京○○高校の2年生のカリキュラムをもとにシラバスを作成済み（担当：柴田D）- 授業資料2回分を分担して作成中（担当：全員）表：スケジュール |

↑詳しく書けるだけ書く。スケジュールを図で描いて挿入するのもあり。

## 2-5 反省点と今後の対応

|  |  |
| --- | --- |
| 反省点 | 今後の対応 |
| 各々の仕事に偏りがある | リーダーが仕事量を見て割り振る |
| 調査が上手くいっていない | 一旦全員で話し合い |
|  |  |

↑個人の反省は個人の中間報告で